

多摩地域史研究会会報

第171号

2026（令和8）年6月10日発行

E-mail, tamatiken@yahoo.co.jp

（ホームページ現在休止中）

【第128回例会報告】 今回の例会は、案内役に北村和寛会員が担当し、野上春日神社やツツジ満開の塩船観音寺を探訪しました。内容は以下の通りです。参加者は12名でした。

塩船観音寺と周辺の遺跡

北村和寛

（本会会員・青梅市役所職員）

1 河辺駅

昭和2（1927）年2月の開業当初は南口に三角屋根の駅舎があるのみで、多摩川の河原から崖上の置場に引き上げた砂利専用線で河辺駅に運び、京浜方面へ搬送された。北口の橋上駅舎は昭和47（1972）年12月に完成。

2 青梅東部霞台土地区画整理事業

総面積148.7ヘクタール。東京都新都市計画公社に委託。

昭和37（1962）年4月、区画整理区域の都市計画決定。

昭和46（1971）年5月、霞台第一住宅564戸、第二住宅必444戸の入居完了。

昭和47（1972）年6月、青梅東部霞台土地区画整理事業完成。

3 野上春日神社

約200年前、別当寺の神照寺が焼失した際に神社の古記録も失い、創建時期は不明。

本殿は、慶安元（1648）年の棟札から下師岡村の名主・吉野太郎右衛門と吹上村の名主・塩野喜右衛門の発願により、大工の吉沢藤兵衛によって建立（再建）。

慶安2（1649）年に徳川氏より社領2石を受け

る。

寛延2（1749）年に屋根修理、文化2（1805）年に本殿修理を行った（棟札）。

神社に残された最古の資料として、天文7（1538）年の銅板が残存。

明治3（1870）年、社名を春日大明神から春日神社に改称。

平成2（1990）年、本殿と附棟札3枚が東京都指定有形文化財に指定。

毎年10月に奉納される獅子舞は、青梅市指定無形民俗文化財に指定。

令和2年度に本殿修理事業として、剥落止めや庇工事、図柄の記録を行った。

石灯籠：寛政9（1797）年9月、野上村・下師岡村・吹上村・大門村

手水鉢：天保6（1835）年9月、三箇村氏子中



野上春日神社